

橘学区

災害避難行動マップ

この災害避難行動マップをもとに“いざ”というときに自分の身を守る行動について日頃から考えておきましょう

気を付けて！(地震編)

- 1. 空き家**
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険がある。
- 2. 古い(高い)ブロック塀**
大きな地震では倒壊する危険があるためすぐ離れる。近づかない。
- 3. 狭い道**
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通れなくなる可能性がある。
- 4. 電線**
切れた電線は停電時でも感電の危険がある。近づかない。
- 5. 瓦屋根**
大きな揺れの際には瓦の落下危険がある。瓦屋根のある家屋に住んでいる方は、あわてて外に飛び出さない。



さとう建設株式会社
大規模地震災害、大規模風水害時の協力内容

- (1) 一時的な避難場所や集合場所の提供(駐車場)
- (2) 資器材の提供
- (3) 従業員の派遣



延焼クラスター
(延焼クラスター内の建物棟数)

- 2,500棟以上
- 1,000棟以上~2,500棟未満
- 500棟以上~1,000棟未満
- 100棟以上~500棟未満
- 100棟未満

道路閉塞確率
(あらゆる可能性を考慮したもの)

- 70%以上
- 40%以上~70%未満
- 20%以上~40%未満
- 20%未満

凡 例

- 地下式給水栓設置場所
地震時に避難者自らが操作し、飲料水を確保するための非常用の蛇口を備えた設備。
- WC
下水道直結式仮設トイレ
マンホールの上に簡易なトイレ設備を設け使用するトイレ。
- 地域防災協力事業所
災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所
- AED設置場所
※主要な場所のみ図示しています
- 橋消防団詰所
- 公園・広場等
- コンビニ
- 小学校区境界
- 公共電話
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
・橋小学校
・中生涯学習センター
・名古屋市女性会館・名古屋市男女平等参画推進センター(イーブルなごや)
・橋コミュニティセンター
・美容あいち会館

ブレイランドキャッスル記念橋南店
大規模地震災害、大規模風水害時の協力内容

- (1) 一時的な避難場所の提供(立体駐車場)
- (2) 非常食(水、カップ麺、米、菓子等)の景品を提供

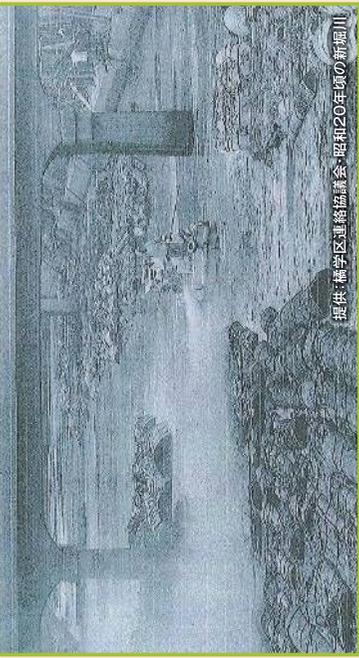


マックスバリュート千代田店
大規模地震災害、大規模風水害時の協力内容

- (1) トイレの開放
- (2) 一時的な避難場所として駐車場の開放
- (3) 救護資機材(AED)の貸出
- (4) その他可能な範囲における支援協力

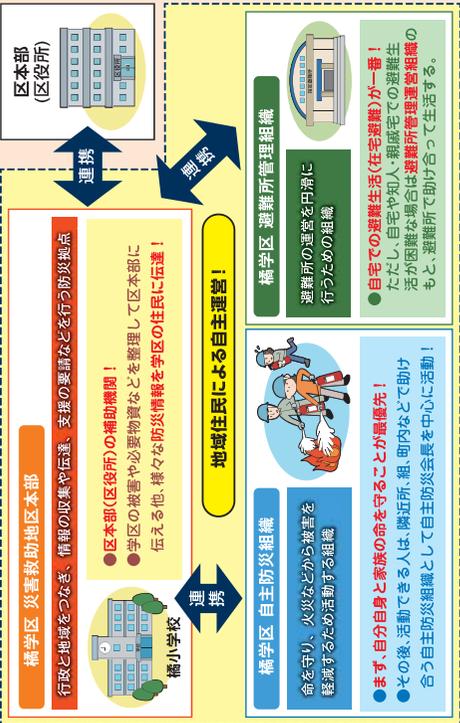



橘学区災害避難行動マップ



提供：橘学区連綿協議会・昭和20年頃の新堀川

災害時の地域の動き～各組織の活動・関係性～



在宅避難のススメ

在宅避難を検討し
ご自宅を避難所にしましょう！

避難所では環境の変化により体調を崩す人もいます。災害のリスクを確認し、自宅で居住が継続ができる状況であれば、慣れ親しんだ自宅での在宅避難を検討しましょう。在宅避難をするために、日頃から必要な物を準備しておくことが大切です。

在宅避難をするために準備する物は...

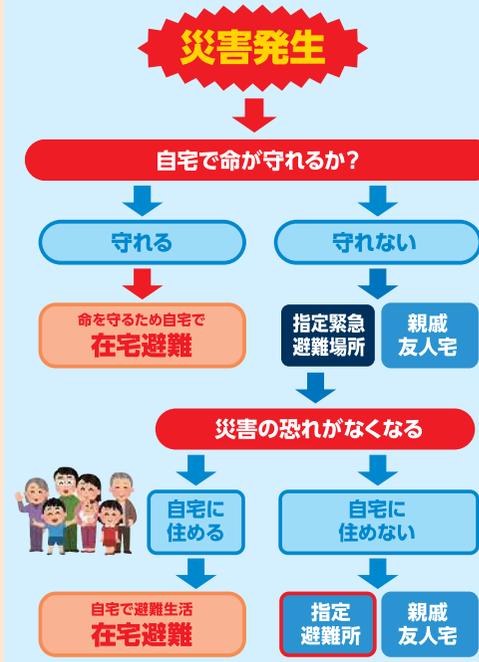
★命をつなぐため必要なもの(7日分程度)

- 保存がきく食品(自分が食べやすいもの)
- 常備薬
- 飲料水(1人1日3リットル)

★自分に必要なもの(一例)

- 携帯トイレ(1人1日あたり5回程度)
- 着る物(下着、雨具、アルミシート等)
- 日用品(ウェットティッシュ、懐中電灯、モバイルバッテリー等)
- 衛生用品(生理用品、歯磨きセット、汗拭きシート等)

避難行動の流れの確認



指定緊急避難場所

(※災害の種類ごとに異なる)

命を守るため、**危険からまずは逃げるための場所**

内水はん濫	橘小学校
	中学生涯学習センター
	名古屋市女性会館・名古屋市男女平等参画推進センター(イーブルなごや)
	橘コミュニティセンター 美容あいち会館
地震	橘小学校(グラウンドのみ)
	大規模火災 若宮大通、葉場公園、鶴舞公園など

指定避難所

自宅が被災して帰宅できない場合、**一定期間**、避難生活を送るための場所

すべての災害	橘小学校
	中学生涯学習センター
	名古屋市女性会館・名古屋市男女平等参画推進センター(イーブルなごや)
	橘コミュニティセンター 美容あいち会館

どうする?トイレ問題

～絶対に避けられないトイレ問題!～

災害時は停電・断水でトイレが流せない場合も...

➡水が要らない携帯用トイレが有効!

携帯トイレが無い場合、自宅で困ったとき。
簡単に作る緊急トイレ



家具等の転倒防止対策

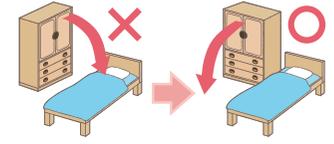
～安価、かつ確実に命を守る対策!～

阪神淡路大震災では死者の8割が家屋の倒壊や家具の転倒による圧迫死・窒息死

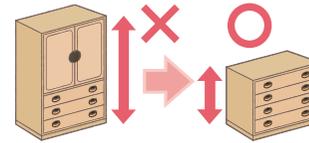
➡寝室を優先に家具等の配置の見直し、背の低い家具への変更など転倒防止対策を実施!



家具を置かないようにしている



就寝場所や、出入口を塞ぐ位置に倒れないような家具のレイアウトにしている



背の高い家具は置かないようにしている



家具の転倒による負傷を防ぐため、家具を固定している
※様々な家具転倒防止器具があります